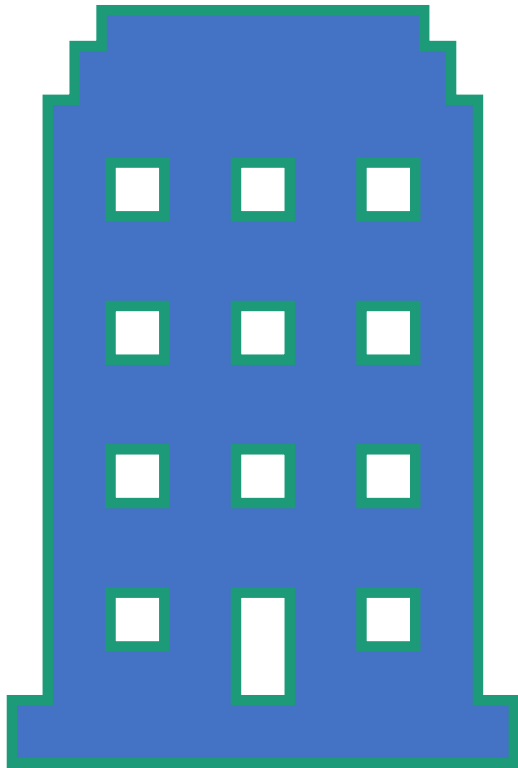


自主防災訓練提案書 (レンタル備品一覧)



自主防災訓練実施について・・・

なぜ防災訓練が必要なのか

日本は自然災害が多い国としても有名です。日本列島は台風を始めとした熱帯低気圧の通り道になっており、2010年から2019年までの10年間の台風の発生数は平均25.2個、全国への接近数は12.3個、そのうち1年あたり3.7個の台風が日本に上陸しています。

更に地震大国としても有名です。今後も、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震のリスクが指摘されており、地震・津波といった自然災害への備えは欠かせません。

このような自然災害を想定して、保存食や衣類、携帯トイレを始めとした防災用品・セットの確保や、ハザードマップを活用した避難経路のチェックだけでなく、平時より防災訓練を行い、迅速な行動がとれるよう防災意識を養う必要があります。総務省消防庁の調査によると、平成29年度（2017年）に全国の市町村で8,814件（うち実働訓練は5,713件）、都道府県単位では856件（うち実働訓練は428件）の防災訓練が実施されています。市民1人ひとりが防災訓練へ定期的に参加することが、自然災害時の迅速な初動対応につながります。

自主防災訓練実施について・・・

防災訓練の目的

災害が発生した場合に適切な行動ができるよう、各年齢層の住民や事業所、防災関係機関などとの連携を十分に図りながら、実践的な訓練を行うことが目的です。更に訓練を通じて、周辺住民との**コミュニケーションが取れる**ことが重要な目的です。災害の規模が大きければ大きいほど、人命救助や消火などの緊急対策の需要が増大するため、防災関係機関はすべての地域に手が回らない状況になります。

「自分だけは大丈夫」「自分たちの地域だけは大丈夫」と思っていると、実際に災害が発生したときに、被害を拡大させてしまいます。普段からできないことは、災害時に急にできるものではありません。このため、災害時に適切に行動できるよう、実践的な訓練を行っておくことが重要です。

訓練の実施にあたっては、自主防災組織だけではなく、各年齢層の住民や事業所、防災関係機関などとの連携を十分に図りながら行うことが重要です。

どんな防災訓練があるの？



○防災訓練の種類は？

防災訓練には、初期消火訓練、救出・救護訓練、情報収集・伝達訓練、避難誘導訓練、給食給水訓練、図上訓練などがあります。

◆ 初期消火訓練

火災が発生した場合にすぐに消火できるよう、消火器やバケツ、可搬ポンプを使用した初期消火を実施できるようにするための訓練です。

◆ 救出・救護訓練

倒壊家屋などの下敷きになった人を救出する方法や、けが人の手当や搬送などの応急救護を実施できるようにするための訓練です。

◆ 情報収集・伝達訓練

通信手段が途絶又は混乱する中で、必要な情報を収集し、また、防災関係機関等からの情報を地域住民に正しく伝達するための訓練です。

◆ 避難誘導訓練

突然災害が発生した場合でも速やかに安全な場所に避難できるようにするための訓練です。

◆ 給食給水訓練

災害時において住民に円滑に救援物資や飲料水を配給するための訓練です。

◆ 避難所運営訓練

避難所生活での避難所での様々な活動を円滑に行うための訓練です。

◆ 図上訓練

防災点検マップを活用し、地域の防災について地域住民同士が考えていくための訓練です。

地域の安全を守るため、自主防災組織が中心となって地域住民や事業所等と一緒に、これらの訓練に取り組みましょう。

防災訓練をしよう！

当社がお勧めする防災訓練は、、、

1 初期消火訓練

火災が発生した場合にすぐに消火できるよう、消火器やバケツを使用した初期消火を実施できるようにするための訓練です。実際に訓練で使用するのは、当社で保有している「水消火器」なので、安心・安全にご利用できます。



2 体験訓練

煙体験ハウス



消防訓練や防災訓練で使用する煙体験ハウスです。火事に巻き込まれた際に慌てずに避難できる様、日頃から訓練する事が大切です。擬似のドライスモークは、安全性の高い成分を使用しており、全国の防災訓練等で活躍しています。安心の日本国内生産品です。



煙は短時間でテント内に広がりますので、直に使用して頂けます。

煙が満たされるまで、SH-13（1間×3間）で約37秒程度、SH-14（1間×4間）で約49秒です。

3 体験訓練Ⅱ

消防署の方に来ていただき、講習を受けて、救命に必要な知識を体験しながら学んでもらいます。



4 防災訓練イベント

□防災運動会

一番の目的は、「防災」に対する意識を持ってもらうことですが、緊急対応時を体感したり、対応力を強化する意味でも重要になることです。

種目としては、、、

○緊急担架リレー

棒にTシャツなどの上着を活用し、担架を作り人を運びリレー

○バケツリレー競走

名の通りバケツに水を入れて、アンカーが模擬炎に水をかける

○災害障害物競走

がれき等に見立てた障害物をよけたり乗り越えたりして競う

○防災借り物競走

災害時必要なるものを周囲にいる人などから調達して競う

○備蓄準備競走

災害時必要となる備蓄備品を時間内にどれだけ用意できるか競う

千葉県九都県市防災訓練会場



地域防災訓練設営実績



避難所開設時に必要な備品

何が必要なの？

災害が発生した時や発生する前に避難所の開設が実施されます。その時に何が必要になるか考えてみました。近隣住民の方が多く非難されることが考えらる中、人員確認として受付対応が必要になります。

指定避難所には、対応するものがないことから、受付用のテント・椅子やテーブル
感染症対策備品・簡易発電機・掲示板等初期対応として必要な備品が考えられます。

それらの備品をセットにしてレンタルすることができ、
さらに地域別の環境に応じた備品の提供も
対応できるのが当社の強みです。



セット備品



3 m × 6 m テント



消毒液スタンド（足踏み式）



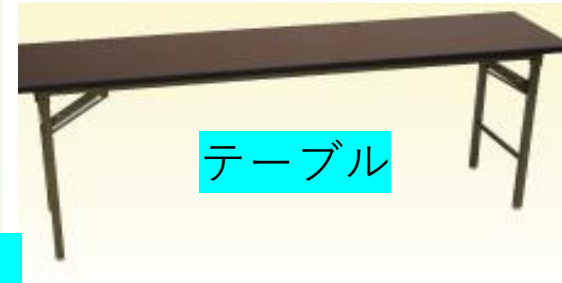
非接触型体温計



椅子



簡易発電機（ガスボンベ仕様）



テーブル



ハンディサーモグラフィ

1 カーゴセット（避難所用）

テント 3 m × 6 m（天幕：白）	1 張
ウエイト（30 kg④、20 kg②）	6 個
横幕（3 m、6 m）	2 枚ずつ
会議用テーブル（450 × 1800）	3 台
イス（スチール）	4 脚
ガス発電機	2 台
照明（クリップライト）	4 個
配線（10 m）	4 本
表示板（900 × 1800）	1 枚
トラメガ	4 台
救急箱	1 式
備品（ガムテープ、紐等）	1 式
非接触型体温計	2 台
ハンディサーモ	1 台
文具等備品（ペン類、テープ類、紐など）	1 式

レンタル機材 1 覧

テント 3 m × 6 m（天幕：白）	ハンディサーモ
ウエイト 30 kg	非接触型体温計
横幕（3 m、6 m）	担架
会議用テーブル（450 × 1800）	流水防護壁
イス（スチール）	傘立て
冷暖房器具	
ガス発電機	
配線（10 m）	
照明（蛍光灯・クリップライト）	
重量コーン	
コーンバー	
誘導等	
トラメガ	

セット備品お見積り 特別価格!

提示金額は通常の2泊3日の
料金になります。
今回1週間の期間ご利用
いただけるセットになって
おります。

※注意

- ・オプション備品に関し
ては、別途提示させて
いただきます。

合計金額						担当
¥132,000						大原
コード	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	3m×6mクイックテント	1	張	12,000	12,000	天幕:白
	横幕 6m	2	枚	1,200	2,400	
	横幕 3m	2	枚	600	1,200	
	ウエイト 30kg	4	個	500	2,000	
	ウエイト 20kg	2	個	500	1,000	
	デコラテーブル 450×1800	3	台	1,200	3,600	
	折りたたみイス(スチール)	4	脚	300	1,200	
	クリップライト 白	4	個	1,000	4,000	
	ガス発電機	2	台	10,500	21,000	
	※取替えポンペはお客様にてご用意					
	延長コード 10m	4	本	700	2,800	
	非接触型体温計	2	台	2,000	4,000	
	消毒液スタンド(足踏み式)	1	台	2,500	2,500	
	トランジスタメガホン(ハンド)	4	台	2,000	8,000	
	パネル 900×1800	1	式	2,500	2,500	
	文具セット	1	式	3,000	3,000	
	救急セット	1	式	10,000	10,000	
	搬入搬出運搬費	2	回	20,000	40,000	
	特別値引き	1	式	-1,200	-1,200	
				小計	120,000	
			0.1	消費税(10%)	12,000	
コード				合計	132,000	

販売ツール備品 I

水 害 対 策 ツ ー ル

大切な店舗・オフィスの設備と衛生を守り、休店・休業を避けるために

止水板

商品名：Boxwall

ゲリラ豪雨や台風などによるオフィス・店舗への
浸水を阻止。土嚢に代わる簡易設置型止水板!

NOAQ
Flood Protection AB



【仕様】

サイズ:980mm×680mm×530mm
最大堰止め高:500mm 重量:6.2kg/枚
素材:PP(ポリプロピレン)樹脂製、
アウトコーナー材、インコーナー材、
ABS樹脂製



**小規模な範囲の防護対策にも最適!!
設置、収納、管理、いずれもラクラク!!**

Boxwallは少人数でも設置や撤去作業がおこなえ、ビルや公共施設などをはじめ、民間の商店や家屋の単位でも容易に取り扱うことが可能です。

優れた高い機動性

短時間で広範囲の展開が可能!(10mを2名2分間で設置完了)

設置・管理の容易さ

ジョイント接続だけで、洪水防護展開。工具不要です!かかる水圧で固定するため、アンカーボルトなどの地面への打ち込みも不要!軽くて重ねられるため、移動も管理も容易。繰り返し使用可能!!

販売ツール備品Ⅱ

止水シート

商品名：San wrap

Boxwall(止水板)以上の高さ想定の水害防護にうってつけ。
建物全体が包めます。

水圧で構造物にピッタリフィット!
組み立て・設置カンタン、建物に合わせて自由設計!
ナイロンシート製。軽量でコンパクトに収納!

浸水防止
最大高
1200mm

水害対策 浸入防止システム

ボックスウォールでは足らなかった止水高500mm以上の浸入防止を目的として開発。シートは直線用と角用を組み合わせることで建物全体を包み 浸水を防止する。各シートはファスナーにて接続することができ建物に合った形で組み合わせる。

【仕様】

シート:W2400mm(1200mm)×H2,300mm
シート吊金具:H1560mm/重量約0.72kg(1本)
浮上防止チェーン:長さ10m/重量約6.3kg 止水高:1200mm

※オプションで排出ポンプ、ポンプガードもございます。

※シート固定のため、チェーンと一緒に、土のうを設置することをお勧めします。
土のうの間隔は2mに1袋、1袋の重さは12kg~15kgで十分です。



A R K F R O N T H e a l t h T e c h C a t a l o g

※画像はイメージです。また、商品の仕様、およびスペックなどは、予告なく変更する場合がございます。全ての商品に別途送料がかかります。あらかじめご了承ください。